

自律・協働・参画



笹塚中だより



渋谷区立 笹塚中学校（令和8年10月7日発行）

校長 濱島 美佐子

本日で令和8年度前期が終了します。皆さんにとってどんな令和8年度前期でしたか？私が振り返ってまず思い出すのは、「生徒主体の学校！」と生徒会長が全員の前や小学生の体験授業の日に宣言し、その雰囲気醸成してくれたことです。

「生徒主体」というのは、かなり「積極的な」姿です。その実践のためには責任も伴います。生徒会が実践してくれた「生徒主体」の取組は「運動会応援団」の初結成でした。募集に対し、多くの有志が集まり、応援団としてどんな応援にするか皆で話し合っただけで決めたそうです。運動会予行で応援団が初めて皆の前で応援を披露しました。その時に先生方からも「中央に立つと選手の姿が見えない」「太鼓で放送が聞こえない」など、いろんな改善を求める意見が生徒会に届けられました。それを受け、生徒会は改善を迫られ、応援団の皆と考え、改善案を担当の先生に提出し、本番を迎えました。その時の苦悩の様子を会長が作文に残していました。その結果、運動会当日、選手の皆を引き立て、放送も引き立てる素晴らしい応援を届けることができました。これが調整力ということだと思います。本当に生徒会をはじめ、応援団の皆さん、お疲れ様でした。生徒主体の素晴らしい取組でした。

その応援を引継ぎ、区陸では全員が応援団となり、笹中の選手たちに一生懸命の応援を届けました。選手の皆さんも一生懸命に競技に参加し、立派な区陸になりました。選手の皆さん、応援団の皆さん、応援を送った全校生徒の皆さん、本当にお疲れ様でした。競技の入賞者（3位まで）を裏面で紹介しています。

さて、今は学芸発表会に向けて合唱の練習や探究の発表に向けて準備を一生懸命に行っているところです。先日は2年生とS組が稲刈りに行ってきました。稲刈りの1週間前にはS組が乾馬作りに行っていました。この2日間ともこの雨が続いた9月中、貴重な晴れに恵まれ、無事、綺麗に全ての稲を刈り取ってきました。

保護者の方も10名も参加してくださり、オヤジの会の皆さんと支えてくださいました。今回も桜美林大学の学生さん2名と先生もお越しくくださいました。そして、本校からはALTのルーク先生と探究専門教員の小林先生も参加してくくださいました。斉藤農園長からレクチャーを受け、皆で稲を元気に楽しく刈りました。その姿勢がとても頼もしく、どの生徒を見ても一生懸命に稲刈りに取り組んでいました。生徒たちに帰りに感想を聞いたところ「楽しかった！」「面白かった！」と元気に帰っていきました。探究的な見方でいくと皆さん「なぜ？」と思ったところはどこですか？そこを聞いてみたいです。今年度の1年生が植えた稲がたわわに実っていましたが、昨年度皆さんが植えた苗のことを思い出してください。確か3本ずつ摘まんで植えませんでしたか？稲の束は3本でしたか？私は初めて稲刈りした時、そこがとても不思議でした。

今年度も、斉藤農園の皆様のご協力のもと、オヤジの会、保護者、その他大勢の皆さんのお力をいただいて無事稲作を体験することができました。雨が多く、倒れている稲もたくさんありましたが、そうした厳しい自然の中、農園の方々は日々努力して私たちの食を生産してくださっています。感謝の思いを改めてもち、前期をしめくくりましょう。そして、後期、更に充実した学校生活にしていきましょう！

